

- 問1 光が物質の境界で反射するとき、境界面に垂直な線と、入射した光の筋とのなす角を「入射角」といいます。これに対し、反射した光の筋と境界面に垂直な線とのなす角を「反射角」といいます。入射角と反射角が常に等しくなるという光の性質を何といいますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 屈折の法則                      2. 乱反射                      3. 全反射                      4. 反射の法則
- 問2 液体や気体が循環することによって、熱が運ばれる現象を何といいますか。最も適切な名称を答えなさい。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 対流                      2. 伝導                      3. 比熱                      4. 放射
- 問3 ルーペ（凸レンズ）を使って小さな物体を詳しく観察する際、より広い視野を確保しつつピントを合わせるための操作として最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. ルーペを目と物体の中間に固定し、ルーペを左右に小刻みに動かす                      2. ルーペをできるだけ目に近づけて持ち、観察する物体を前後に動かす                      3. ルーペを観察する物体に密着させ、目を前後に動かす                      4. 目を物体に限界まで近づけ、ルーペを目から遠ざけるように動かす
- 問4 あるばねに0.2Nの力を加えたときにばねの伸びが0.8cmであり、0.4Nの力を加えたときにはばねの伸びが1.6cmとなりました。このばねに0.5Nの力を加えたとき、ばねの伸びは何cmになると考えられますか。 (2021年 長崎県公立入試 類似)
1. 2.5cm                      2. 2.2cm                      3. 2.0cm                      4. 1.8cm
- 問5 光学台の上に、焦点距離10cmの凸レンズ、光源（物体）、スクリーンを並べて実像を映す実験を行った。まず、凸レンズから20cm離れた位置に光源を置いたところ、凸レンズから20cm離れた位置のスクリーンに実像が映った。次に、光源を凸レンズから15cm離れた位置へ移動させた。このとき生じる変化について、実像が結ばれる位置までの距離と、実像の大きさの組み合わせとして正しいものはどれか。 (2014年 山梨県公立入試 類似)
1. 実像までの距離は10cmより短くなり、像の大きさは光源よりも小さくなる                      2. 実像までの距離は20cmより長くなり、像の大きさは光源よりも大きくなる                      3. 実像までの距離は10cmより短くなり、像の大きさは光源よりも小さくなる                      4. 実像までの距離は20cmより長くなり、像の大きさは光源よりも小さくなる
- 問6 凸レンズの軸に平行な光を当てて光を一点に集める操作を行い、その集まった点からレンズの中心までの長さを測定しました。この測定された長さの名称として適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 中心距離                      2. 焦点距離                      3. 屈折の長さ                      4. 像の間隔
- 問7 摩擦のない水平な台の上にばねを置き、その両端に糸を介しておもりをつるして静止させる実験を行います。ばねの両端に同じ重さのおもりをつるしたとき、ばねは一定の長さだけのびて静止し、動かなくなりました。このように、物体にいくつかの力がはたらいていても、物体が動かない状態にあることを何といいますか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 力の作用・反作用                      2. 力の分解                      3. 力のつり合い                      4. 力の合成
- 問8 物体に力を加えて変形させたとき、もとの形に戻ろうとして生じる力を何というか。また、ばねやゴムひもにおいて、その力の大きさと、変形した長さ（のび）との間にはどのような関係があるか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 弾性力といい、のびは力の大きさに比例する                      2. 弾性力といい、のびは力の大きさに反比例する                      3. 圧力といい、のびは力の大きさと関係がない                      4. 摩擦力といい、のびは力の大きさに比例する
- 問9 高さが4cmの物体をばねばかりにつるし、水中に沈めていく実験を行いました。水面から物体の下端までの距離が4cmを超え、物体が完全に水中に沈んだ状態において、観察される現象として正しいものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 物体が深くなるにつれて、ばねばかりの示す値は徐々に大きくなっていく。                      2. 物体の深さに関わらず、ばねばかりの示す値は一定になる。                      3. 水圧の積に比例して、ばねばかりの示す値が急激に減少する。                      4. 物体が深くなるにつれて、ばねばかりの示す値は徐々に小さくなっていく。
- 問10 全反射が起こるための条件として、「光が進む向き」と「角度の関係」の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)
1. 光が空気中から水中に進み、入射角が屈折角よりも大きくなったとき                      2. 光が空気中から水中に進み、屈折角が入射角よりも大きくなったとき                      3. 光が水中から空気中に進み、入射角が九十度に達するまで屈折角を小さくしたとき                      4. 光が水中から空気中に進み、屈折角が九十度に達するまで入射角を大きくしたとき
- 問11 円の中心を通る軸に沿って半円形ガラスを配置し、ガラス側から空気中へ光を進める実験を行いました。入射光側で軸へ下ろした垂線の長さを変化させながら、屈折光から軸へ下ろした垂線の長さ（BD間）を測定したところ、2.7cm、4.0cm、5.4cmと順に長くなりました。このとき、屈折角の大きさはどのように変化したと考えられますか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
1. 屈折角は次第に小さくなった。                      2. 屈折角は次第に大きくなった。                      3. 屈折角は変化しなかった。                      4. 屈折角は一度小さくなってから大きくなった。
- 問12 水槽の水の中に、糸でつるしたおもりを完全に沈めて静止させました。このとき、おもりにはたらく「上向きの力」をすべて組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 浮力のみ                      2. 浮力と糸が引く力                      3. 重力と糸が引く力                      4. 重力と浮力
- 問13 凸レンズによって作られる「虚像」を観察する方法とその原理について説明したものとして適切なものはどれか。 (2014年 山口県公立入試 類似)
1. 物体を焦点の外側に置き、スクリーンは使わずに、物体を置いた側と同じ側からレンズを直接のぞき込む                      2. 物体を焦点の内側に置き、スクリーンは使わずに、物体を置いた側とは反対側からレンズを直接のぞき込む                      3. 物体を焦点の内側に置き、レンズの反対側にスクリーンを置いて、そこに映る像を観察する                      4. 物体を焦点距離の2倍の位置に置き、レンズの反対側にスクリーンを置いて、そこに映る像を観察する